

リフレッシュ瀬戸内事業(加太海岸清掃)について

「令和7年度リフレッシュ瀬戸内事業」 ～加太港海岸の清掃活動を実施しました～

和歌山市では、住民の皆様と共に、海岸の清掃活動という“誰もが参加しやすい活動”を通じて“美しい瀬戸内を守っていく”ことを、参加者をはじめとする多くの人々に訴えていくために、「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の骨格事業である「リフレッシュ瀬戸内事業(※1)」に取り組んでいます。

今年も加太港海岸で漂着物の回収等の清掃活動に取り組みました。地元自治会の方々をはじめ、民間企業や官公庁から総勢約330名の方にご参加いただき、海水浴シーズン前に砂浜の清掃活動を実施しました。当日は、家族連れで参加した方も多く、老若男女問わず、海岸沿いの景色や会話を楽しみながら清掃活動に取り組む姿が見られました。

協力：

加太地区連合自治会、加太観光協会、加太まちづくり(株)、(株)浅川組、(株)本間組、(株)東組、きのくに信用金庫、南海電気鉄道(株)、西日本高速道路ファシリティーズ(株)、大和リース(株)、奥村組土木興業(株)、NECフィールディング(株)、(株)丸昌、京セラコミュニケーションシステム(株)、双日(株)、双日ミライパワー(株)、国土交通省近畿地方整備局、海上保安庁、和歌山県、和歌山市、一般ボランティアの皆様【※敬称略・順不同】

ご参加いただいた皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

(※1)リフレッシュ瀬戸内事業とは

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の骨格事業として、「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉に、令和7年度は5月1日から6月30日まで及び9月1日から10月31日までの間、瀬戸内海沿岸各地で一斉に行う海岸清掃活動です。



瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会について

瀬戸内海地域は、古来より海上交通の場として栄え、独自の社会・経済文化圏を歴史的に形成し、我が国の発展に寄与してきました。

本協議会は、その歴史の重み自然の恵みを活かして、瀬戸内の各地域が一体となり海を活かした地域づくりを考え実践することにより、瀬戸内海地域全体のさらなる振興と発展を図ることを目的として、平成3年5月に設立されました。

現在、瀬戸内海沿岸の107の市町村と11府県（大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、福岡県、大分県）の会員と協議会活動をサポートする国土交通省地方機関（近畿・中国・四国・九州の各地方整備局港湾空港部、地方運輸局及び神戸運輸監理部）が、あらゆる境を越えて一堂にあつまり、様々な交流・連携活動を行っています。

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会ホームページより抜粋：<https://www.uminet.jp/>



瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会のシンボルマーク